

# 事務事業評価資料

施策名	「学びの農」の推進		所管部局課名	農政環境部農政企画局総合農政課					
事業名	農林水産体験ファーム設置事業		担当者電話番号	地産地消係 内線4058					
事業目的	小中学生の食や農林水産業への興味・理解を深め、将来の担い手や応援団として育む。								
事業内容	小中学生が食料生産の場である農山漁村に滞在し、生産者の指導による農林水産業の総合的な体験や地域の子もたちとの交流体験等を行う機会を提供する。				事業開始年度	平成18年度			
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額			
	事業費	(0千円) 5,070千円		(0千円) 5,070千円		(5,070千円) 5,070千円			
	人件費	4,236千円	従事人員 0.5人	4,180千円	従事人員 0.5人	4,102千円 従事人員 0.5人			
	総コスト(+) )	9,306千円	従事人員 0.5人	9,250千円	従事人員 0.5人	9,172千円 従事人員 0.5人			
事業の目標	農林水産体験ファーム参加者数			[目標設定理由] 子どもたちに様々な体験機会を提供するため、参加者数の確保を目標とする					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)		
		目標値	年度				H20	H21	H22
	農林水産体験ファーム参加者数	300人/年		343人 (27千円)	201人 (46千円)	300人 (31千円)	114.3%	67.0%	100.0%
評価結果	必要性	・次代を担う子どもたちの農林水産業への興味・理解を深め、将来の担い手や応援団として育てていくため、また、食の安全安心と食育に関する条例及び食育基本計画で体験活動を通じた農林水産物の生産等に関する理解を促進するための施策を講じることとしており、事業の実施が必要である。							
	有効性	・農林漁業者の指導による生きた農林水産業の総合的な体験機会が提供できている。 ・農林水産体験ファームを通じて、参加した子どもたちや保護者の農林水産業や農林水産業を通じた食への理解が深まっている。							
	効率性	・ノウハウを有する団体にプログラム作成と事業実施を委託し、効率的に体験学習の推進を行っている。 ・また、平成19年度から委託団体を公募し、多くの団体からより効果的なプログラムの選定に努めている。							
	民間・市町との役割分担	・民間団体・NPO等が体験プログラムの作成と催行を担当して実施している。							
	受益と負担の適正化	・借上げバス代の1/2相当、宿泊費・食事代、傷害保険料等については、参加者負担金を充当している。							
実施方針	方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し				
	実施手法の見直し内容	廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定		
説明	近年、子どもたちの自然体験が貧困になっており、農林漁業体験などを通じて、「食」を提供する農林水産業の理解を深め、将来の担い手や応援団として育てていくため、引き続き事業を実施する。								